

# 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

## 2021年度 第3回理事会

### 議事録

日時：2022年2月26日（土）16：00～17：20

場所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、保科実、安藤佳代子、渡辺孝次、山口聖子、高浜成行、  
岩間秀子、桜本利幸、東海林志朗、鹿島（吉龍）忍、石原勝広、  
小林（井口）深雪（13名）

委任出席者：鈴木久三郎、隅野礼雄、荒井秀樹、夏目堅司、二星謙一、新田佳浩、  
小林清美、田原麗衣、井上真司、辻村和見、（10名）

欠席者：大日方邦子、中村勝彦、中村実彦、狩野亮（4名）

欠席監事：大内智、宮田隆司（2名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、27名中出席23名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市副会長、保科常務理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会長の挨拶に続き会議が開始された。

#### 【審議事項】

##### （1）令和4年度のパラサポ助成金申請について

石丸：令和4年度のパラサポ助成金制度と申請の流れについて説明。従来からの助成金項目から普及啓発支援事業が別枠となり1団体200万円上限になった。当連盟はパラ競技3団体を統括していることを考慮してもらうように2月25日の事前相談の際にパラサポに申し入れを行いました。

申請事業の優先順位を付けて申請することになっています。

石丸：人的資源とガバナンス、その他の申請内容について説明。

安藤：普及啓発の用具購入についての申請と、普及啓発支援事業へのパラアルペン・パラノルディック・パラスノーボードの体験会とVI講習会の申請内容についての説明を行った。今迄は3チーム合同で計画していたが、別々に計画しています。

石丸：隅野本部長に代わり広報・マーケティングの申請内容について説明を行った。

- ① 記者会見・リザルト配信 ②選手画像確保のためのカメラマン費用 ③HP機能向上とグッズ製作費用を予算化したので申請したい。

椎名：優先順位については、令和3年度の認定結果から認定される可能性の高い事業の中での事業の重要度を加味して常任理事会で審議した結果、下記の順位になりました。

1. 人的資源
2. 広報・マーケティング①
3. 広報・マーケティング②
4. 普及用具購入
5. 翻訳・PC購入
6. 広報・マーケティング③
7. ガバナンス

議長：令和4年度のパラサポ助成金申請内容と優先順位について承認を求めたところ全員一致で承認されたについて

## 【報告事項】

### (1) 北京パラリンピック代表選手団について

石丸：2月16日にJPCから発表された、選手・スタッフ・競技パートナーについて資料に沿って各チーム毎に説明を行った。

渡辺：バイパルタイト枠の決定がギリギリのタイミングになり、それに伴うスタッフ派遣要請に大変苦労した。

石丸：北京パラリンピックの競技日程について、一覧を示して説明を行った。

### (2) 令和4年度のコーチ・スタッフ等設置事業について

石丸：2月18日締切でJPCにコーチ・スタッフ設置事業に推薦したスタッフの一覧について説明を行った。今年度からハイパフォーマンスディレクターという新設の役職が出来、競技団体から1名を必ず推薦することになった。強化委員長の仕事はその役職と合致しているので、夏目委員長、渡辺委員長、二星委員長をハイパフォーマンスディレクターとして推薦した。石井さん・小舘さん・綿谷さんはナショナルヘッドコーチ、藤田さんは競技パートナーB、新規で大岡さんはトレーナーAに推薦しました。ノルディックチームの渡瀬トレーナーは、更新しないことになりました。

保科：北京を控えた今、来年度の体制を決めることは出来ないで委員長をハイパフォーマンスディレクターとして推薦すること、現状のスタッフをそのまま継続で推薦するようにしました。新体制は遅くとも連盟の新年度までには確定させて、スタッフの入替が必要であれば行う予定です。

### (3) JPC アンチ・ドーピング NF 担当者会議について

岩間：2月2日に担当者会議が開催されました。資料の中で、重要と思われる箇所について説明。糖質コルチロイドの使用についてとTUEの改定について（特に選手区分の変更）具体的に説明が行われた。また、令和4年4月からJADAの抜き打ち検査対象を300人から800人に増やすと聞いていることの報告がありました。

### (4) JSC ガバナンス研修（利益相反）について

石丸：1月31日に利益相反に関する研修を受けました。競技団体における利益相反の具体例を題材にした研修でした。今後、判断に迷う際には配布資料に記載された事例を参考にしてほしい。

### (5) 4月開催予定のアルペンスキー競技大会について

保科：4月4日から7日まで、野沢温泉スキー場にてWPAS公認のポイントレースを行います。GS2戦とSL2戦を実施予定。参加選手はパラアルペンチームとIDアルペンチームを想定してスタッフを含め全員北竜館に宿泊を予定しています。

### (6) 21-22シーズンの普及事業の実施状況について

安藤：今シーズンの普及事業の実施状況について説明が行われた。大会事業では、スノーボードのサポータズカップとチェアスキーチャンピオンシップが中止。講習会事業ではIDアルペンスキー講習会と北海道障がい者スキー普及講習会が中止に、体験会はスノーボードが中止になりました。VI体験会は2月の予定は中止になりました。それ以外の事業は予定通りまたは日程を遅らせて実施する予定です。

【その他】

- \* 椎名：スポンサーカップは中止にします。このような状況ではスポンサーの方々に募集を掛けることは難しいと考えます。
- \* 椎名：感謝の夕べは出来る限り対面でパラリンピックに参加した選手とスポンサーの方々の交流の場を提供したい。時期については少し遅らせて6月に開催したい。対面が難しいようならWEB開催で行う。
- \* 石丸：次回の理事会は5月21日土曜日16時からの予定です。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

2022年2月26日

議事録署名人

議 長                      椎 名      茂

議事録署名人              古 市      隆 一

議事録署名人              保 科      実